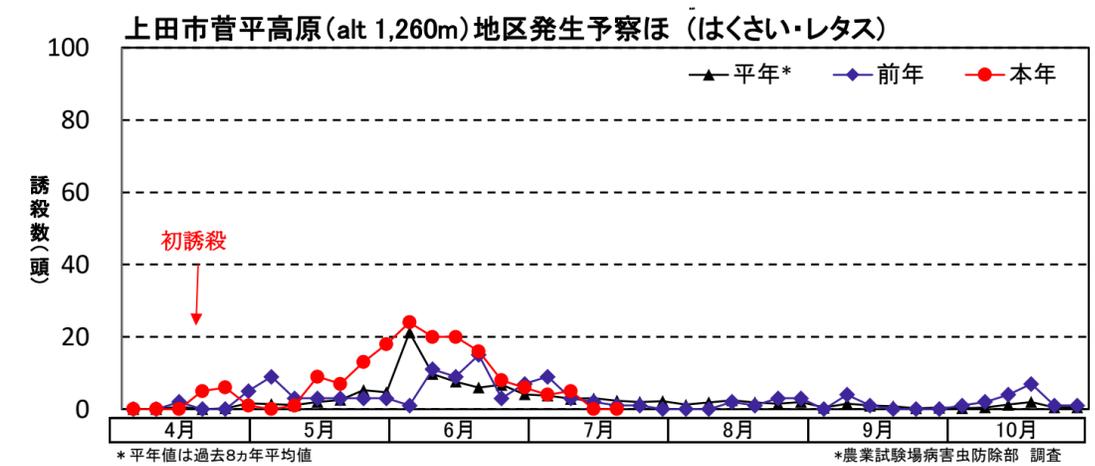
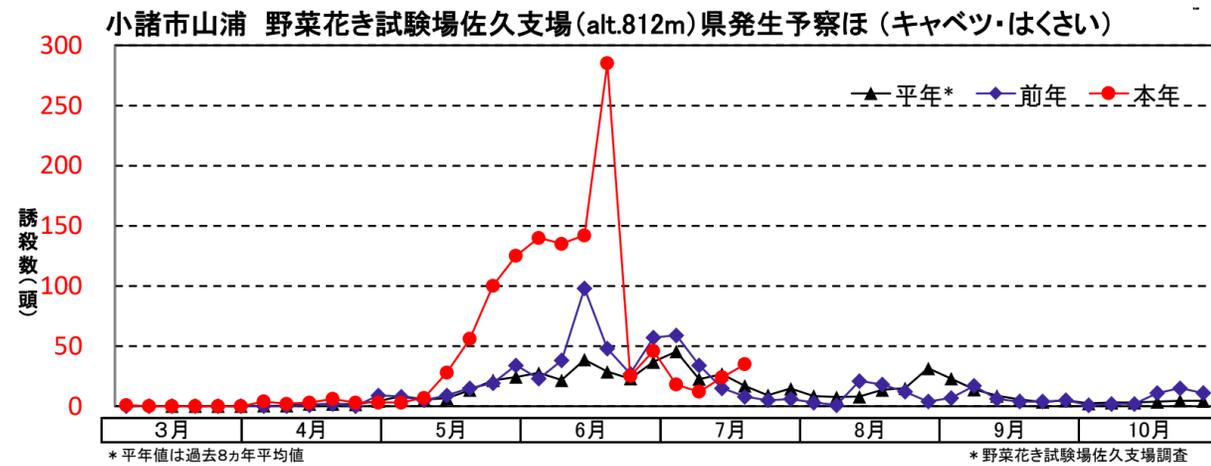
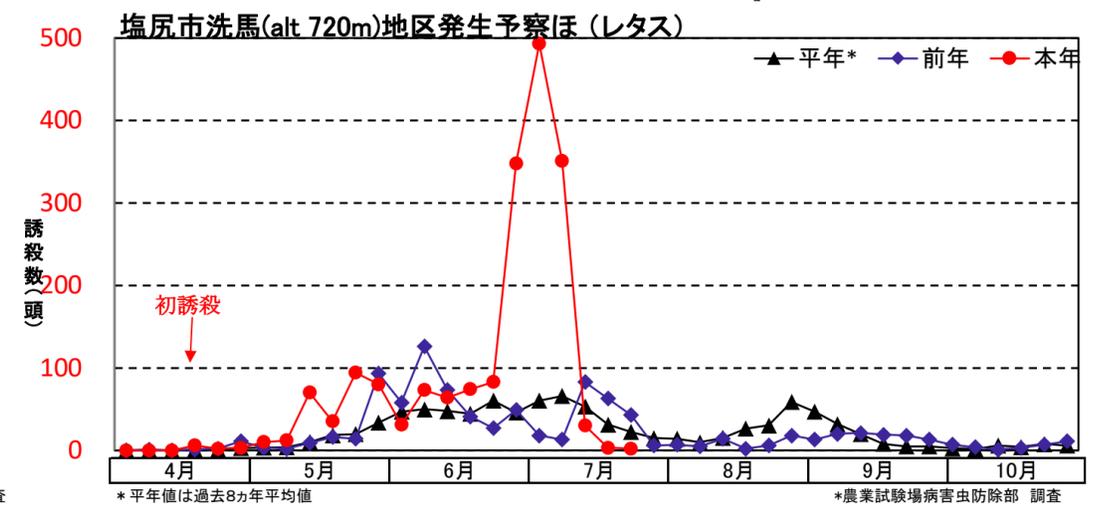
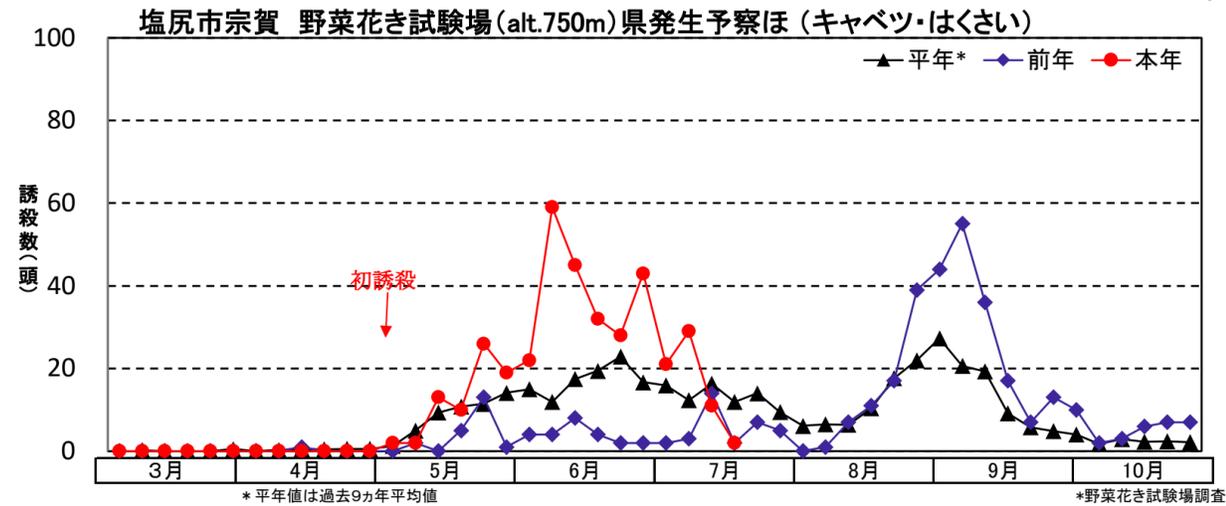


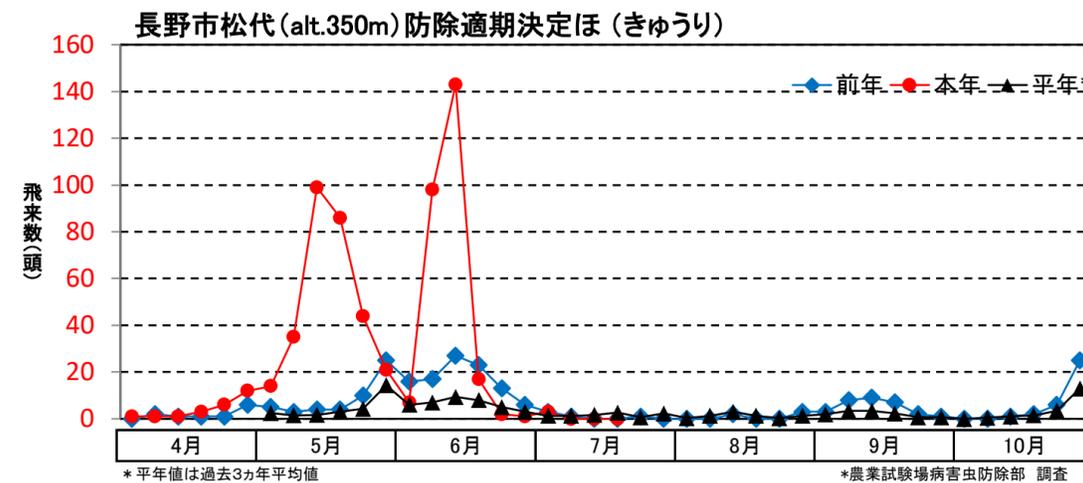
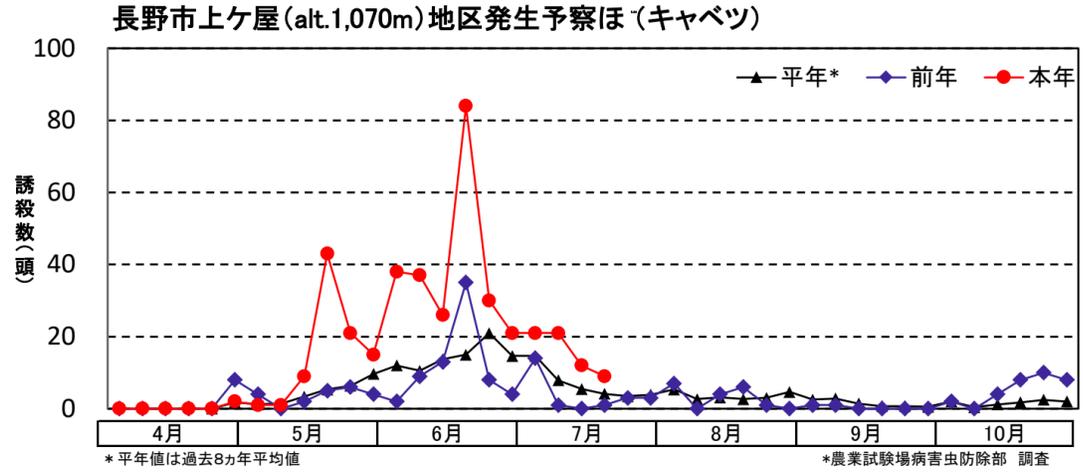
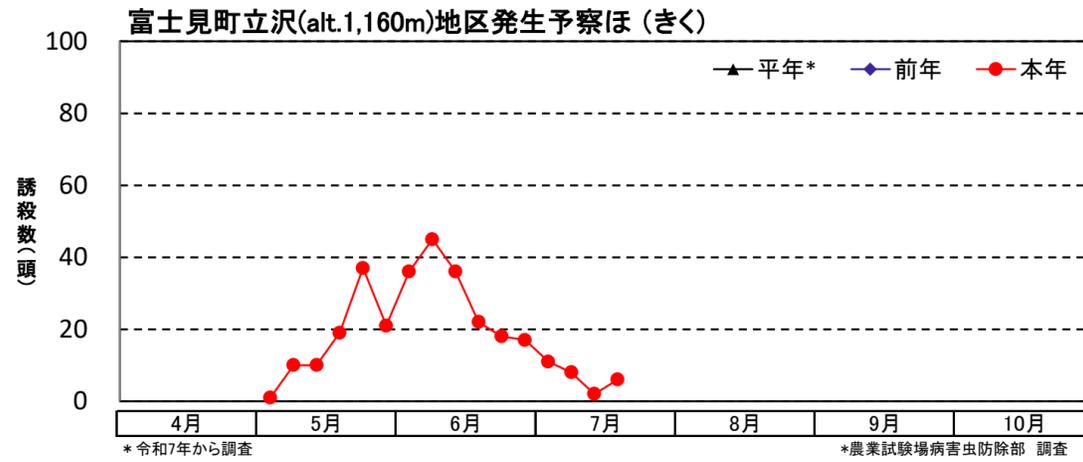
令和7年 アブラムシ類有翅虫飛来消長

農業試験場、野菜花き試験場で実施した黄色粘着トラップによる誘殺消長調査の結果です

【コメント】

- ・塩尻市宗賀では、5月中旬から増加し、6月は平年の約2倍の誘殺頭数であったが、7月中旬は平年並～やや少なかった。
- ・塩尻市洗馬では、5月～7月上旬の誘殺頭数は平年と比べ多く、特に6月第6半旬～7月第2半旬の誘殺頭数は平年値の約7倍であった。7月第3～第5半旬は、平年と比べやや少なかった。
- ・小諸市では、5月第3半旬～6月第4半旬の総誘殺頭数は平年値の5.5倍と、多かった。7月上旬はやや少なく、中旬はやや多かった。
- ・上田市では、5月第3半旬から増加し、5月下旬～6月中旬は平年と比べ多かったが、6月下旬以降、7月中旬まで平年並であった。
- ・富士見町では、調査開始の5月第1半旬から誘殺され、5月下旬～6月上旬に発生ピークがみられ、その後は減少した。
- ・長野市上ヶ屋では、誘殺頭数が多く、5月第4半旬～7月第4半旬までの総誘殺頭数は平年値の2.7倍の誘殺頭数であった。
- ・長野市松代では、5月～6月の総誘殺頭数は過去3年間の平均値の約8.6倍と、かなり多かった。6月下旬以降は平年並の誘殺頭数であった。





;